

[ダイジェスト版]

森林・林業活性化プラン21

～循環型社会の実現に向けた林業・木材産業の展開～



平成15年1月
福井県



いま、森林が大切です。

森林は、本県の約75%の面積を占めており、福井県の山、水、空気、動植物や私達の健康を守っています。

また、森林からは私達の生活に必要な木材やきのこなどが産み出されています。

この森林は、これまで林業を行うことを通じて守り続けられ、このような働き(これを「森林の多面的機能」といいます。)を果たしてきました。

しかし、林業は採算がとれなくなり、手入れがされない森林が増加しています。

また、過疎化や高齢化により山村の活力が低下し、林業に従事する人も著しく減少しています。

今、森林の働きとそれを支えてきた林業・山村の存続が懸念される状況にあるのです。

「環境の世紀」といわれる21世紀において、環境と調和した循環型社会づくりが課題となっていますが、このように大切な森林や再生産でき環境にやさしい木材資源の保全と利用を担う林業・木材産業は重要な役割を果たしていかなければなりません。

森林の役割 森林の多面的機能(主なもの)

「土砂災害を防ぐ」

地面の侵食や土砂の崩壊を防ぐ



表面侵食防止

・全 国 28兆2,565億円
・福井県 3,504億円

表層崩壊防止

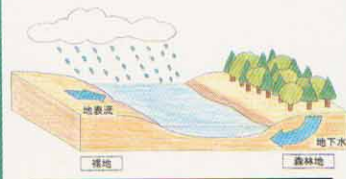
・全 国 8兆4,421億円
・福井県 1,047億円

評価額に占める割合

全 国52% 福井県42%

「水を育む」

洪水を緩和して水を貯えたり、水質を浄化する



洪水緩和
・全 国 6兆4,686億円
・福井県 678億円

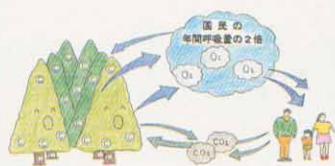
水資源貯蔵
・全 国 8兆7,407億円
・福井県 2,331億円

水質浄化
・全 国 14兆6,361億円
・福井県 2,782億円

評価額に占める割合
全 国43% 福井県53%

「地球環境を保全する」

地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素の吸収や長期にわたる貯蔵作用により自然環境を調節する



二酸化炭素吸収

・全 国 1兆2,391億円
・福井県 154億円

化石燃料代替

・全 国 2,261億円
・福井県 20億円

評価額に占める割合

全 国 2% 福井県 2%

「保養の場の提供」

保健・レクリエーションの場を提供する



保養

・全 国 2兆2,546億円
・福井県 280億円

評価額に占める割合

全 国 3% 福井県 3%

森林の多面的機能の評価額

(全 国) 年間 約70兆円

(福井県) 年間 約1兆800億円

一人当たりに換算すると...

(全 国) 国民一人当たり年間 約55万円

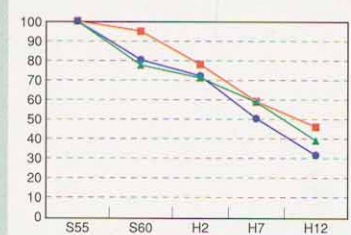
(福井県) 県民一人当たり年間 約130万円

注) 全国の評価額: 日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的機能の評価について」(平成13年11月)
福井県の評価額: 全国の評価額を参考に試算

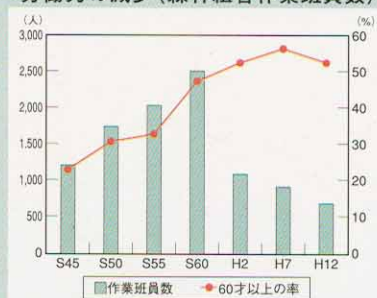
本県の森林・林業・木材産業・山村の現状

・林業経営の悪化

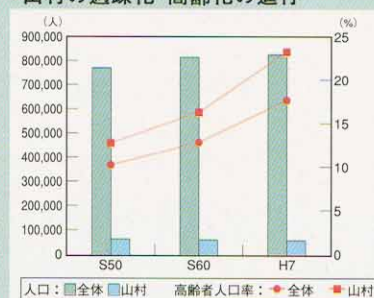
(昭和55年を100とした場合の各項目の推移)



・労働力の減少(森林組合作業班員数)



・山村の過疎化・高齢化の進行



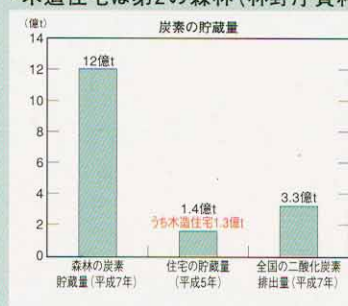
・間伐、枝打ち等手入れ不足の森林



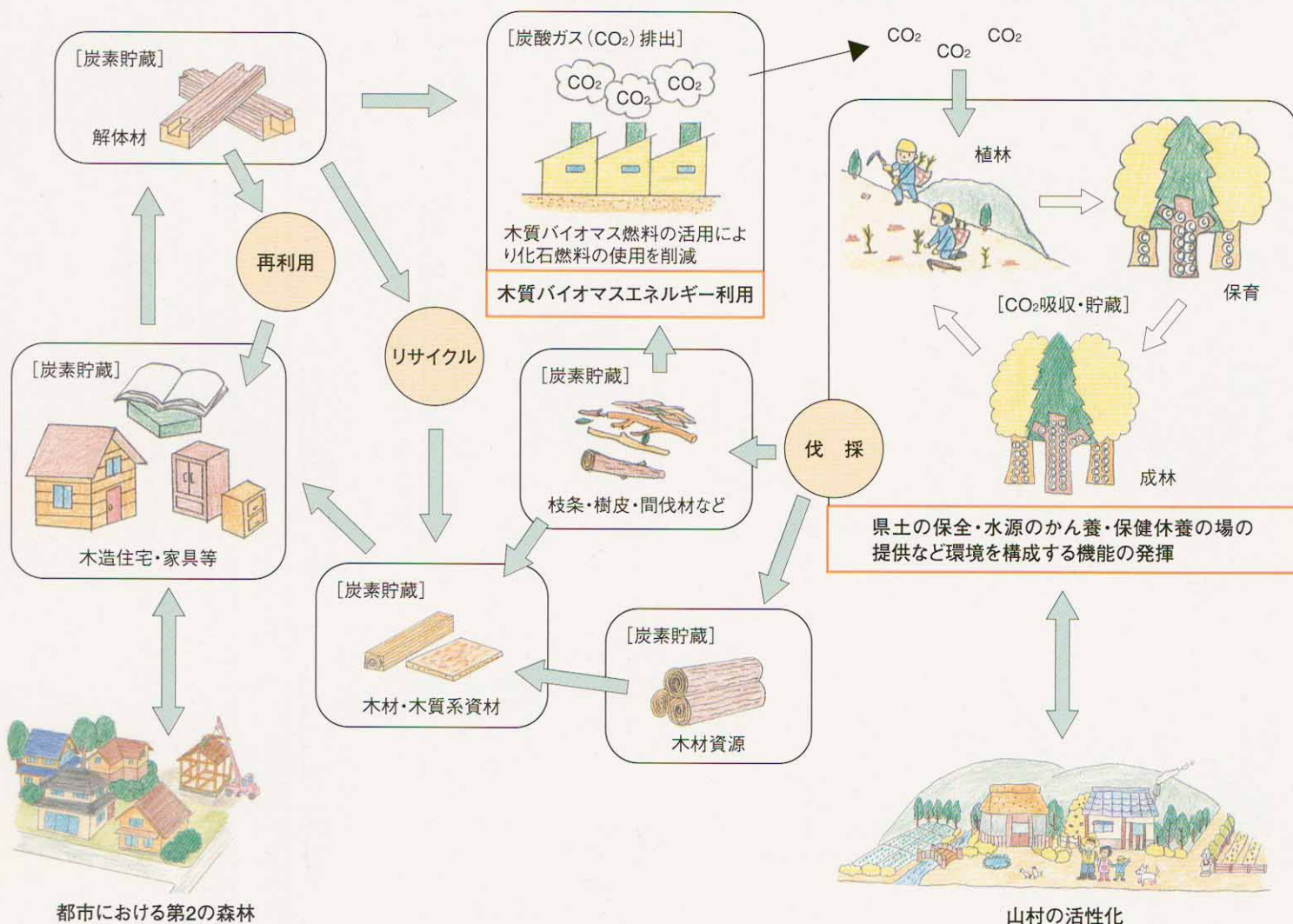
・環境にやさしい木材(林野庁資料)



・木造住宅は第2の森林(林野庁資料)



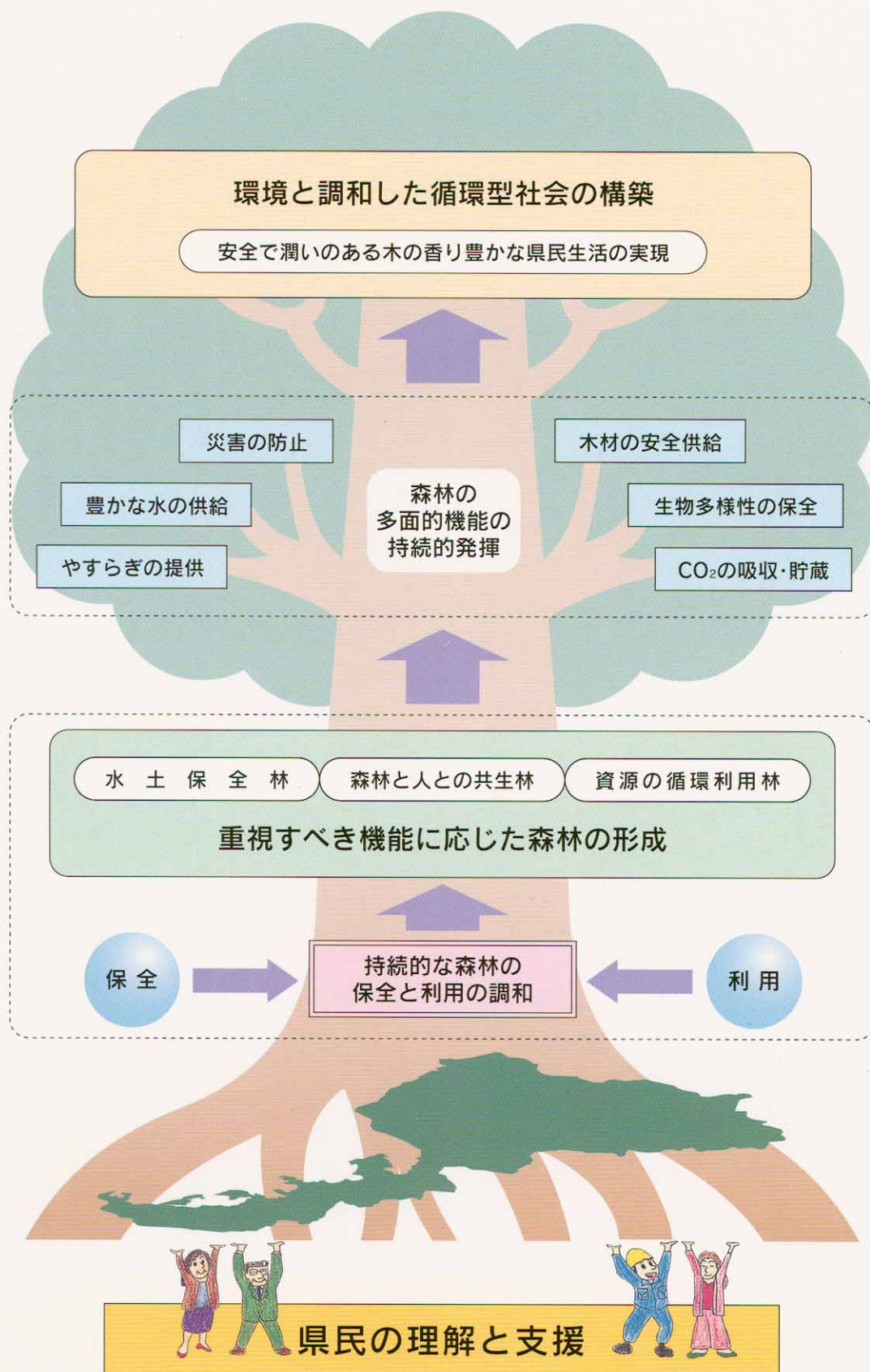
21世紀にふさわしい森林と資源の循環の姿



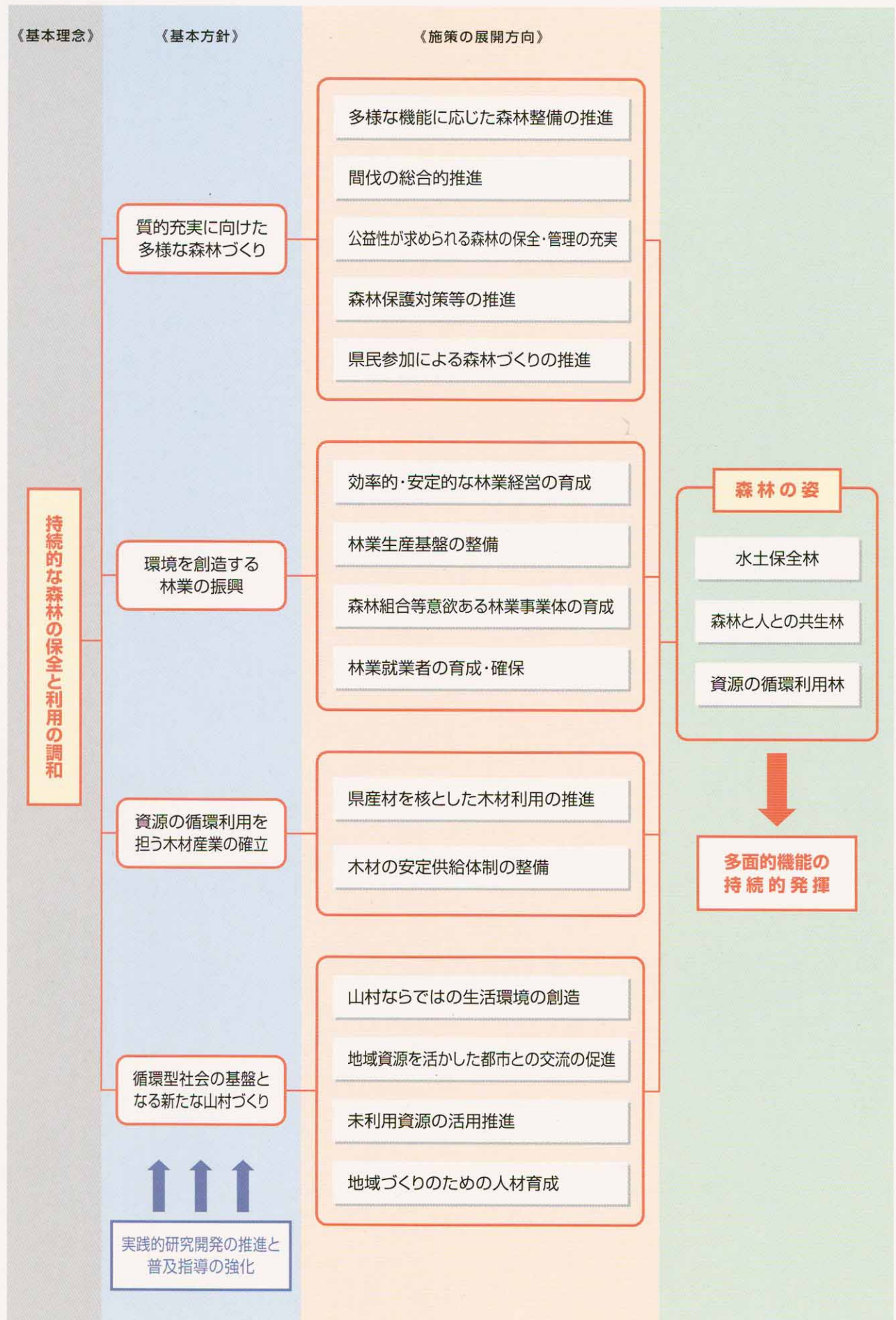
県が進める施策の方向

県民の理解と支援により、森林の多面的機能の恩恵を将来にわたり享受できる木の香り豊かな暮らしと循環型社会の実現に向けて、基本理念を「持続的な森林の保全と利用の調和」とし、各種の施策を進めていきます。

基本理念概念図



基本方針・施策の展開方向 体系図



基本方針 1 : 質的充実に向けた多様な森林づくり

～目 標～ 樹木が良好に生長し、豊かな植生、土壌が保持されているような生態的に安定性が高い多様な森林づくりとともに、持続的な森林の保全と様々な形での利用の調和を図ります。

1 多様な機能に応じた森林整備の推進

- ①機能区分に応じた森林の整備・保全、路網整備
- ②森林情報の整備などによる適正な森林の管理



水土保全林



森林と人との共生林



資源の循環利用林

2 間伐の総合的推進

- ①間伐の計画的な実施と間伐材の利用



間伐の実施



間伐材の利用(学習机)



間伐材の利用(公共工事)

3 公益性が求められる森林の保全・管理の充実

- ①保安林制度の適切な運用と治山事業による森林の荒廃防止対策の総合的な整備
- ②管理不十分な森林の公的関与による環境林の整備
- ③森林整備法人による森林の整備



水源地域の森林の整備・保全



山崩れや土砂の流出の防止

4 森林保護対策等の推進

- ①森林病虫害被害の効果的な防除対策
- ②鳥獣被害の防止対策
- ③森林の不法投棄や林野火災等に対する森林保全管理活動等の充実強化



松くい虫防除(薬剤空中散布)



クマ被害防止対策(伸縮性ネット巻き)

5 県民参加による森林づくりの推進

- ①保健、文化、教育の場など多様な森林の利用
- ②森林整備参加活動等の推進を通じた森林に対する県民理解の増進



森林環境教育の場



緑の募金活動

基本方針2：環境を創造する林業の振興

～目標～ 森林生態系に配慮した森林整備と森林資源の循環利用を通じ、環境を構成する水や空気の提供、県土保全などの機能を有する「森林」という環境を創造します。

1 効率的・安定的な林業経営の育成

- ① 森林所有者の経営意欲の喚起
- ② 低コスト化、企業的経営のための施業・経営の集約化
- ③ 消費者ニーズに対応できる特用林産物の振興



座談会の開催



普及活動の実施



越前カンタケの栽培状況

2 林業生産基盤の整備

- ① 低コスト化のための路網整備と林業機械化の推進



林道の整備



高性能林業機械による造材



高性能林業機械による運搬

3 森林組合等意欲ある林業事業体の育成

- ① 森林組合等林業事業体の経営基盤の強化



広域合併の促進



経営の多角化(小径木の加工)



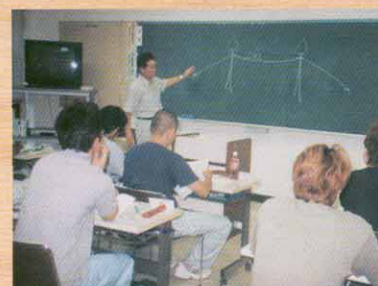
経営者の資質向上研修

4 林業就業者の育成・確保

- ① 林業労働力の育成・確保
- ② 林業後継者の育成



就業相談会



新規就業者研修



林業研究グループ活動支援

基本方針3：資源の循環利用を担う木材産業の確立

～目標～ 環境に優しい木材の安定供給と木材（県産材）の積極的な利用を図ることにより、森林資源の循環を促進し、環境に調和した循環型社会の構築に貢献します。

1 県産材を核とした木材利用の推進

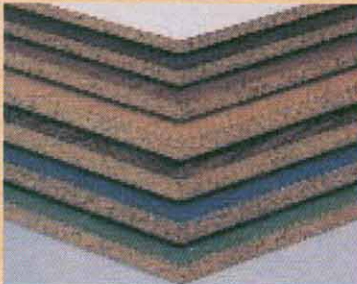
- ① 公共施設・公共土木工事における木材の利用の推進
- ② 住宅等への県産材の利用の推進
- ③ 消費者ニーズに応じた製品開発等
- ④ 未利用木質資源の多段階的利用の推進



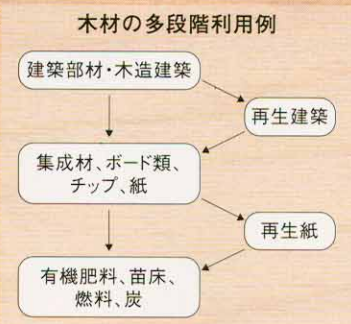
公共施設の木造化



住宅への木材（県産材）利用



新製品開発（木質ボード）

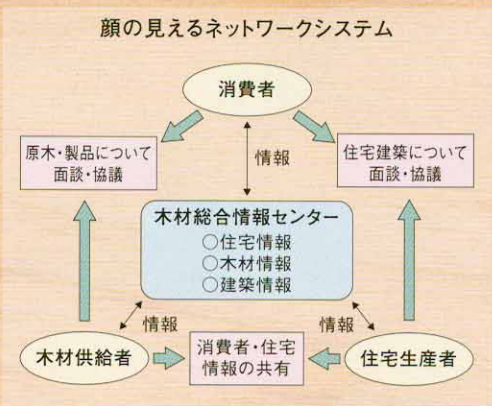
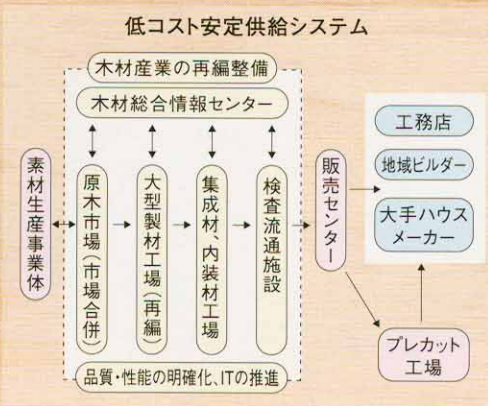


2 木材の安定供給体制の整備

- ① 素材生産事業体の木材安定供給体制の強化
- ② 低コストで品質・性能の明確な新たな木材流通システムの確立
- ③ 消費者ニーズに対応できる顔の見える生産・流通・消費のネットワークシステムの確立

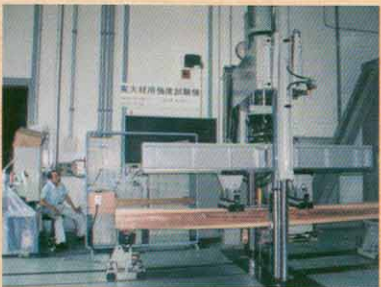


安定的な木材供給体制



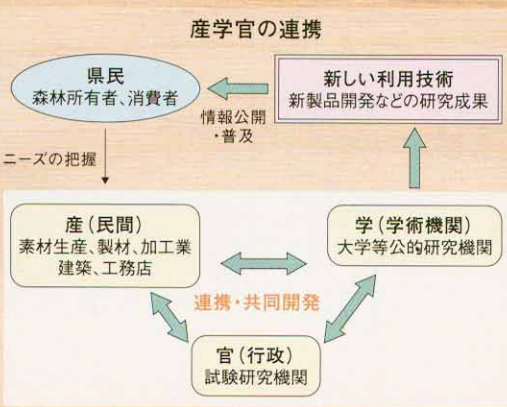
森林・林業・木材産業の一層の発展のために

1 実践的研究開発の推進



県産スギ製品の強度試験

2 研究体制の整備



3 普及指導の強化



森林・林業教育の推進

基本方針4：循環型社会の基盤となる新たな山村づくり

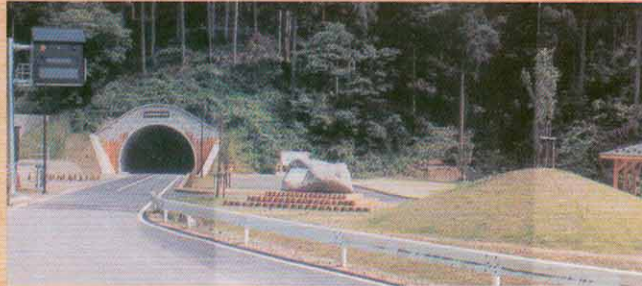
～目標～ 豊富な森林資源の活用、都市との交流の促進、環境にやさしい資源循環モデルの構築を通じた地域づくりなどにより、山村の活性化を図ります。

1 山村ならではの生活環境の創造

- ①魅力的な山村空間や文化など地域固有の伝統的な環境の整備・保全
- ②U・J・Iターン者もふくめた住民の定住条件の整備



魅力的な山村空間



集落間を結ぶ基幹林道



Iターン者の住宅の確保

2 地域資源を活かした都市との交流の促進

- ①都市住民と交流促進のための交流環境の整備
- ②就業の場・機会の確保のための多様な産業の振興
- ③情報ネットワークの構築等による消費者へのPRを通じた顔の見える関係の確立



イベントの開催による都市住民との交流



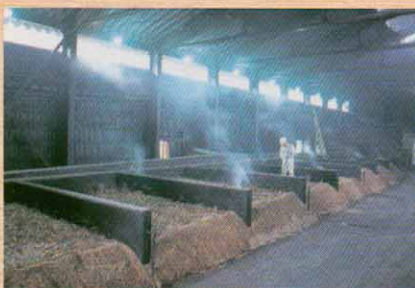
特産品生産施設における就労状況



都市（他県）での特産品の直販

3 未利用資源の活用推進

- ①都市と共生する資源循環モデルの構築



未利用木質資源からの土壌改良材の製造



木屑を利用したマルチング材の吹付状況



木材チップを牛舎の敷料として活用

4 地域づくりのための人材育成

- ①地域の活性化や都市との交流活動を担う地域リーダーの育成
- ②男女共同参画の推進



山村の暮らしの技の伝承（講習）



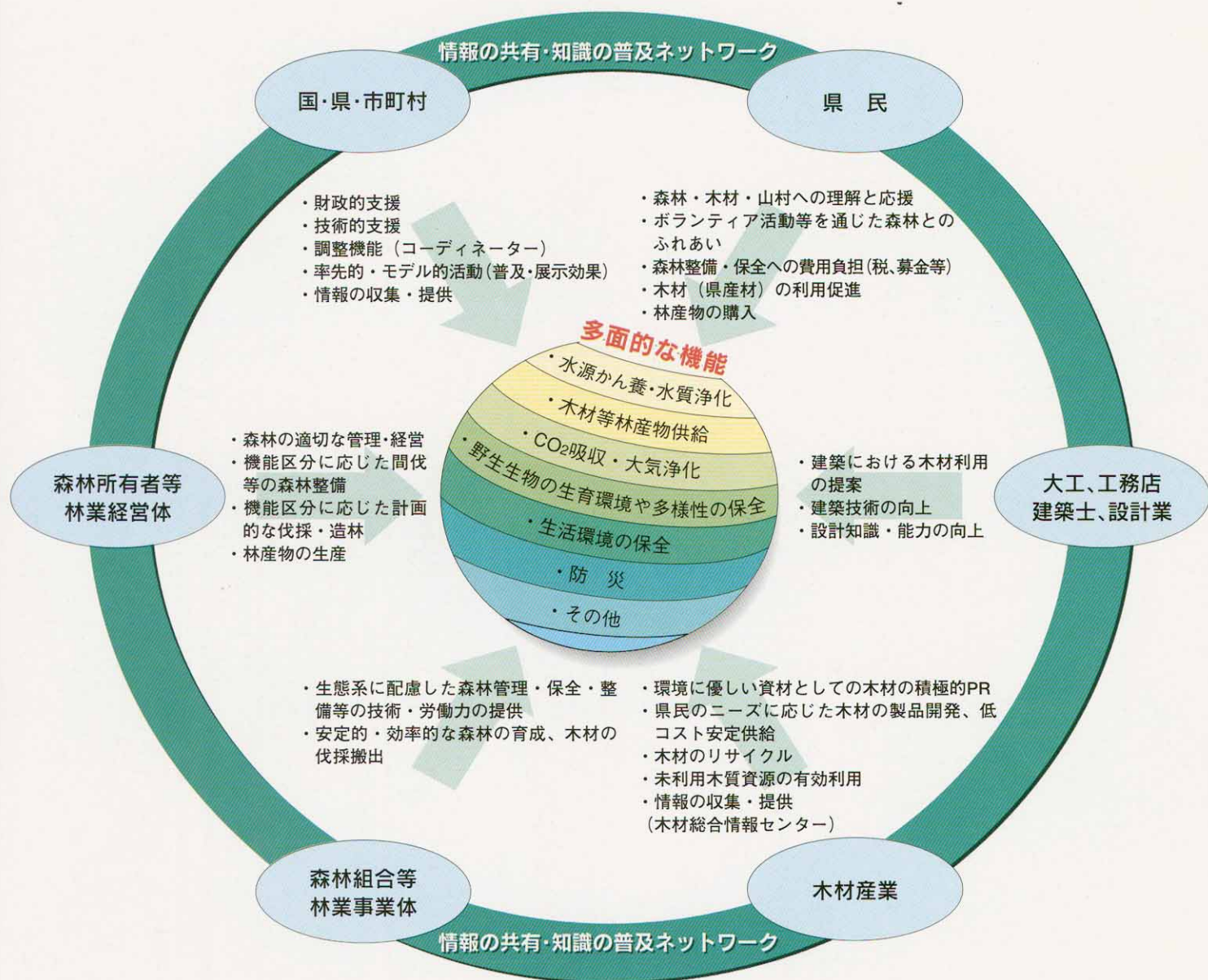
女性に対する研修の実施



女性林業研究グループ活動支援

計画を円滑に進めるために…

【計画を円滑に推進するための協働体制、関係者個々の役割】



【施策を進めるための主な整備目標】

項 目		単 位	現状(平成12年)	目標(平成22年)
森 林 資 源	森林面積	千ha	273.5	273.5
	・育成林		117.3	121.6
	・天然生林		156.2	151.9
林 産 物 生 産	素材生産量	千m ³	118	167
	特用林産物生産	トン		
	・生しいたけ		421	545
	・えのきたけ		402	500
	・ひらたけ		87	120
木 材 の 利 用	・まいたけ		47	140
	製材用	千m ³	96	129
森 林 組 合 数	パルプ・チップ用		21	38
		組合	18	4
労 働 力	森林組合作業班員数	人	701	800
林 道 延 長	(自動車道)	km	1,561	1,805

発 行：福井県

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号
TEL 0776-21-1111 (代表)

問合せ先：福井県農林水産部林政課

TEL 0776-20-0443 / FAX 0776-20-0654
e-mail : rinseika@ain.pref.fukui.jp